

# 平成24年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	千葉県		市町村類型	I-1	指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)																																																																																																																																																																													
					財政健全化等	×	歳入総額	17,973,325	17,797,782	実質収支比率	7.9	6.9																																																																																																																																																																															
市町村名	いすみ市		地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳出総額	17,011,682	16,881,678	経常収支比率	88.9	88.1	(96.2)	(95.3)																																																																																																																																																																													
					首都	×	歳入歳出差引	961,643	916,104	(※1)																																																																																																																																																																																	
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	90,109	152,545	標準財政規模	10,973,943	11,032,914																																																																																																																																																																															
					中部	×	実質収支	871,534	763,559	財政力指数	0.49	0.51																																																																																																																																																																															
人口	22年国調(人)	40,962	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	107,975	40,275	公債費負担比率	12.9	12.0																																																																																																																																																																															
	17年国調(人)	42,305			過疎	×	積立金	569,443	555,425	健全化判断比率																																																																																																																																																																																	
	増減率(%)	-3.2			山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																															
住民基本台帳人口(※7)	25.03.31(人)	41,275	第1次	22年国調	1,462	17年国調	1,950	低開発	×	積立金取崩し額	334,074	398,393	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																												
	うち日本人(人)	40,751		第2次	8.4	9.9	指数表選定	○	実質単年度収支	343,344	197,307	実質公債費比率	9.3	9.8																																																																																																																																																																													
	24.03.31(人)	41,309	第2次	4,562	5,469			基準財政収入額	3,698,824	3,830,801	資金不足比率(※4)	117.9	120.8																																																																																																																																																																														
	うち日本人(人)	41,309		26.2	27.7			基準財政需要額	7,841,335	7,872,010																																																																																																																																																																																	
	増減率(%)	-0.1	第3次	11,386	12,083			標準税収収入額等	4,709,717	4,858,817																																																																																																																																																																																	
	うち日本人(%)	-1.4		65.4	61.3			経常経費充当一般財源等	9,765,874	9,706,678																																																																																																																																																																																	
	面積(km <sup>2</sup> )	157.51						歳入一般財源等	12,749,770	13,052,802																																																																																																																																																																																	
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	260																																																																																																																																																																																										
世帯数(世帯)	14,704																																																																																																																																																																																										
職員の状況																																																																																																																																																																																											
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	18,568,692	17,971,764																																																																																																																																																																																
	市区町村長	1	6,630		一般職員	365	1,168,000	3,200	うち公的資金	11,445,030	11,259,436																																																																																																																																																																																
	副市区町村長	1	5,355		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	186,935	244,165																																																																																																																																																																																
	教育長	1	4,675		うち技能労務職員	39	106,080	2,720	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																																
	議会議長	1	4,130		教育公務員	1	4,340	4,340	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																																																
	議会副議長	1	3,510		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	2,130,261	1,894,892																																																																																																																																																																																
	議会議員	18	3,270		合計	366	1,172,340	3,203	減債基金	10,638	10,638																																																																																																																																																																																
						ラスバイレス指数(※6)	104.3	(96.3)		その他特定目的基金	2,889,469	2,887,302																																																																																																																																																																															
	<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(2) 国民健康保険特別会計</td> <td></td> <td>(5) 水道事業</td> <td></td> <td>(6) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3) 介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(外房線複線化特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4) 後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(8) 南房総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9) 国保国吉病院(国保国吉病院事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10) 夷隅環境衛生組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11) 布施学校組合(布施学校組合会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)	(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業		(6) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)											(3) 介護保険特別会計				(7) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(外房線複線化特別会計)											(4) 後期高齢者医療特別会計				(8) 南房総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)															(9) 国保国吉病院(国保国吉病院事業会計)															(10) 夷隅環境衛生組合(一般会計)															(11) 布施学校組合(布施学校組合会計)															(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)															(13) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)															(14) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)															(15) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)									
	一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)																																																																																																																																																																													
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業		(6) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																																					
		(3) 介護保険特別会計				(7) 夷隅郡市広域市町村圏事務組合(外房線複線化特別会計)																																																																																																																																																																																					
		(4) 後期高齢者医療特別会計				(8) 南房総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)																																																																																																																																																																																					
						(9) 国保国吉病院(国保国吉病院事業会計)																																																																																																																																																																																					
						(10) 夷隅環境衛生組合(一般会計)																																																																																																																																																																																					
						(11) 布施学校組合(布施学校組合会計)																																																																																																																																																																																					
						(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																																					
						(13) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																																																																																																																																																																																					
						(14) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																																					
						(15) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)																																																																																																																																																																																					

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: ラスバイレス指数の( )内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。  
 ※7: 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	3,941,275	21.9	3,941,275	38.8	普通税	3,941,275	100.0	-	
地方譲与税	232,414	1.3	232,414	2.3	法定普通税	3,941,275	100.0	-	
利子割交付金	7,807	0.0	7,807	0.1	市町村民税	1,824,647	46.3	-	
配当割交付金	8,773	0.0	8,773	0.1	個人均等割	59,078	1.5	-	
株式等譲渡所得割交付金	2,553	0.0	2,553	0.0	所得割	1,510,852	38.3	-	
地方消費税交付金	343,040	1.9	343,040	3.4	法人均等割	83,550	2.1	-	
ゴルフ場利用税交付金	32,801	0.2	32,801	0.3	法人税割	171,167	4.3	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,779,351	45.1	-	
自動車取得税交付金	66,195	0.4	66,195	0.7	うち純固定資産税	1,776,662	45.1	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	83,910	2.1	-	
地方特例交付金	12,759	0.1	12,759	0.1	市町村たばこ税	248,649	6.3	-	
地方交付税	5,990,204	33.3	5,438,723	53.6	釧産税	4,718	0.1	-	
普通交付税	5,438,723	30.3	5,438,723	53.6	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	528,250	2.9	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	23,231	0.1	-	-	目的税	-	-	-	
(一般財源計)	10,637,821	59.2	10,086,340	99.3	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	6,974	0.0	6,974	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	121,078	0.7	8,095	0.1	事業所税	-	-	-	
使用料	242,938	1.4	23,800	0.2	都市計画税	-	-	-	
手数料	119,488	0.7	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	2,268,601	12.6	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	878,205	4.9	-	-	合計	3,941,275	100.0	-	
財産収入	38,857	0.2	13,283	0.1					
寄附金	18,148	0.1	-	-					
繰入金	419,347	2.3	15,813	0.2					
繰越金	916,104	5.1	-	-					
諸収入	319,564	1.8	696	0.0					
地方債	1,986,200	11.1	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	825,500	4.6	-	-					
歳入合計	17,973,325	100.0	10,155,001	100.0					

区分		平成24年度	平成23年度
徴収率	現・計	96.2	84.4
(%)	年	96.0	84.4
	市町村民税	96.0	84.4
	純固定資産税	96.0	82.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,423,467	実質収支	419,965
上水道	432,602	再差引収支	235,461
病院	404,831	加入世帯数(世帯)	8,571
工業用水道	-	被保険者数(人)	15,315
交通	-	被保険者	93
国民健康保険	469,821	1人当り	90
その他	1,116,213	保険料(料)収入額	251
		国庫支出金	90
		保険給付費	251

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	180,484	1.1	-	180,484
総務費	3,493,130	20.5	1,066,192	2,244,272
民生費	4,993,975	29.4	8,551	2,939,962
衛生費	2,070,811	12.2	77,020	1,792,362
労働費	2,466	0.0	-	-
農林水産業費	458,501	2.7	148,918	296,370
商工費	193,281	1.1	23,647	178,968
土木費	1,096,983	6.4	798,621	549,991
消防費	1,076,935	6.3	75,190	1,015,816
教育費	1,709,800	10.1	619,932	936,578
災害復旧費	52,080	0.3	-	6,390
公債費	1,683,236	9.9	-	1,646,934
諸支出費	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	17,011,682	100.0	2,818,071	11,788,127

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	6,897,022	40.5	5,281,196	5,218,745	47.5
人件費	3,192,427	18.8	3,040,546	3,034,543	27.6
うち職員給	2,053,260	12.1	1,904,796	-	-
扶助費	2,021,359	11.9	593,716	537,268	4.9
公債費	1,683,236	9.9	1,646,934	1,646,934	15.0
元利償還金	1,683,236	9.9	1,646,934	1,646,934	15.0
内 うち元金	1,389,272	8.2	1,361,664	1,361,664	12.4
訳 うち利子	293,964	1.7	285,270	285,270	2.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	7,244,509	42.6	6,006,870	4,547,129	41.4
物件費	1,990,297	11.7	1,341,888	918,156	8.4
維持補修費	61,888	0.4	58,480	58,480	0.5
補助費等	2,890,232	17.0	2,629,981	2,357,967	21.5
うち一部事務組合負担金	1,174,718	6.9	1,174,293	1,173,059	10.7
繰出金	1,586,034	9.3	1,339,893	1,171,268	10.7
積立金	633,425	3.7	588,426	-	-
投資・出資金・貸付金	82,633	0.5	48,202	41,258	0.4
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,870,151	16.9	500,061	-	-
うち人件費	22,700	0.1	22,700	-	-
普通建設事業費	2,818,071	16.6	493,671	-	-
うち補助	2,044,148	12.0	55,923	-	-
うち単独	676,195	4.0	415,690	-	-
災害復旧事業費	52,080	0.3	6,390	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	17,011,682	100.0	11,788,127	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

Table showing general accounting financial status with columns for account name, income, expenditure, formal revenue, actual revenue, and local government assets.

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

Table showing public enterprise accounting financial status with columns for account name, total revenue, total expenditure, net profit, and assets.

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

Table showing financial status of related partial special purpose associations with columns for association name, total revenue, total expenditure, net profit, and assets.

地方公団・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

Table showing operating status and financial support for local public corporations and third sectors with columns for entity name, operating surplus, and various asset/liability metrics.

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政的支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

Table showing public debt fee burden status with columns for category, fiscal year, and ratio.

Table showing future liability status with columns for category, fiscal year, ratio, and detailed sub-categories.

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	41,275	人(H25.3.31現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	40,751	人(H25.3.31現在)	実収実収赤字比率	-	%
面積	157.51	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	9.3	%
入総額	17,973,325	千円	実収将来負担比率	117.9	%
出総額	17,011,682	千円			
実収	871,534	千円			
標準財政規模	10,973,943	千円			
地方債現在高	18,568,692	千円			

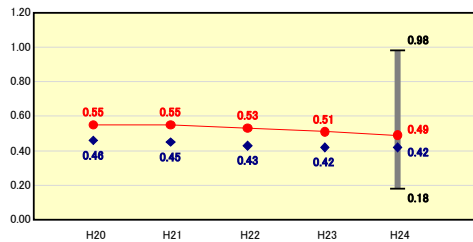


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

#### 財政力

財政力指数 [0.49]

類似団体内順位 38/172 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

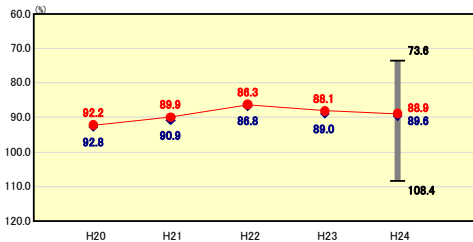


**財政力指数の分析欄**  
 前年度と比較すると0.02ポイント減であり、類似団体平均を0.09ポイント上回っていて、全国平均と同じ数値であるが、平成17年12月5日合併後では、最低の数値となった。これは長引く景気の低迷と急速に進んでいる少子高齢化による税収の落ち込みによるものである。また県内市町村平均からは0.22ポイント下回っていることから、市税の徴収対策の強化や自主財源の確保などを積極的に推進するとともに、行政改革を進め、重複施設の見直しや適正な使用料策定を進め財政基盤の強化に努める。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [88.9%]

類似団体内順位 67/172 全国平均 90.7 千葉県平均 91.9

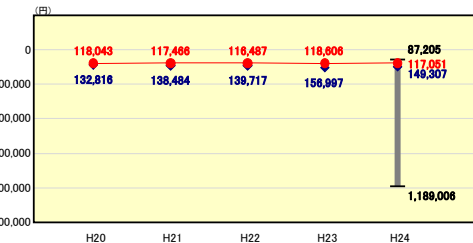


**経常収支比率の分析欄**  
 類似団体平均から0.7ポイント、県内市町村平均からは3.0ポイント、全国平均から1.8ポイント下回っている。歳入において、地方税をはじめ地方譲与税や各種交付金が減少し、交付税が増加したものの一般財源総額では減少した。歳出においては合併後実施している職員の給与カット(特別職15%カット、高齢者職員の昇給の見直し、管理職手当の15%カット等)による人件費の削減を継続的に実施し、定員管理にも取り組んでいることから、人件費は減少しているが、生活保護世帯の増加等により扶助費は増加傾向にある。今後も行財政改革に取り組み経常経費の削減に努める。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [117,051円]

類似団体内順位 34/172 全国平均 116,454 千葉県平均 107,436

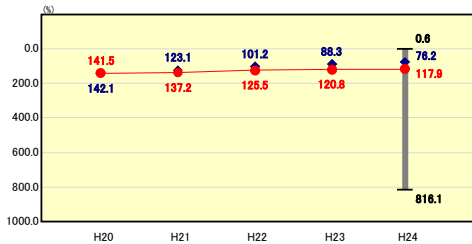


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 前年度と比較し1,555円減少し、類似団体平均を32,256円下回っている。人件費については、前年度と比較し減少したが、物件費、維持補修費については増加した。これは正規職員は減少しているが、臨時職員等を雇用することが増え物件費は増加傾向にある。また公共施設の老朽化が進み修繕等に多額の費用がかかるようになってきたためである。今後は施設の統廃合を進め、施設の維持管理経費削減に取り組んで行く必要がある。

#### 将来負担の状況

将来負担比率 [117.9%]

類似団体内順位 136/172 全国平均 60.0 千葉県平均 68.6

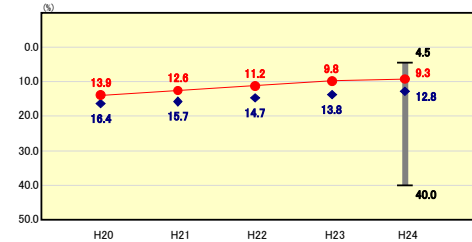


**将来負担比率の分析欄**  
 前年度と比較し2.9ポイント減少し、平成19年度からの分析開始から毎年減少してはいるが、類似団体平均や全国平均、千葉県平均と比較するとかなり高い数値となっている。これについては、平成17年12月5日合併後に合併特別債を活用し、防災行政無線整備、小中学校の校舎、体育館等の改修、統合保育所の建設等を実施したためである。  
 今後は投資的事業の厳選に努め将来債務の抑制を図り、新規事業の実施等について総点検を図り、財政の健全化を図る。

#### 公債費負担の状況

実収公債費比率 [9.3%]

類似団体内順位 26/172 全国平均 9.2 千葉県平均 8.8

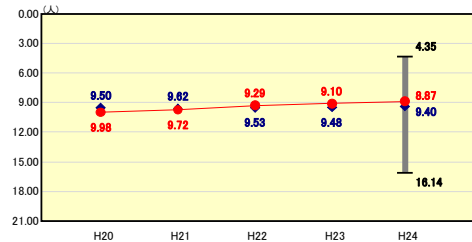


**実収公債費比率の分析欄**  
 前年度と比較し0.5ポイント減少し、類似団体と比較しても3.6ポイント下回っているが、昨年度まで全国平均、千葉県平均よりも低かったが今年度は、0.1、0.5ポイントそれぞれ上回ってしまった。地方債現在高が年々増加している標準財政規模も小さくなったが、元利償還金に係る基準財政需要額算入額が増えたことによる。これは合併特別債等の交付税措置起債を多く借りているためと思われる。今後は学校給食センターや統合小中学校の建設により、比率は上昇する見込みであるが、財政状況をしっかりと把握し、地方債発行は必要最小限に留め、公債費比率の抑制に努める。

#### 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [8.87人]

類似団体内順位 73/172 全国平均 7.00 千葉県平均 6.85

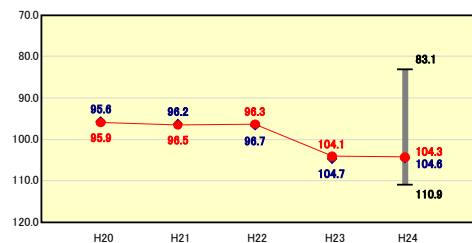


**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 定員適正化計画を策定し、合併後定員管理に努めてきた。合併後132名の職員を削減し、定員適正化計画に掲げていた削減数を大幅に上回っているものの、全国平均や千葉県平均と比較すると未だに大きな差が生じている。これは4万人規模の市としては、公立保育所の数が他の団体に比較し多く、民生部門に占める職員数が他の団体に對して突出しているため、今後は施設の統廃合等を進め、定員管理の適正化を更に進める。

#### 給与水準(国との比較)

ラスパイレズ指数 [104.3]

類似団体内順位 69/172 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



**ラスパイレズ指数の分析欄**  
 ラスパイレズ指数が100を超えているのは、国家公務員給与と削減措置に伴う相違によるものであり、国家公務員給与と削減前の数値では96.3である。昨年度と比較しポイント数値が増えたが、これは県からの派遣職員を受け入れたことによる。類似団体平均、全国市平均と比較しても下回っている。今後も引き続き給与水準の適正化に努める。

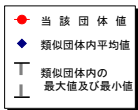
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

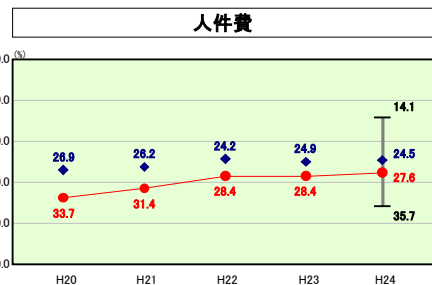
千葉県いすみ市

## 経常収支比率の分析

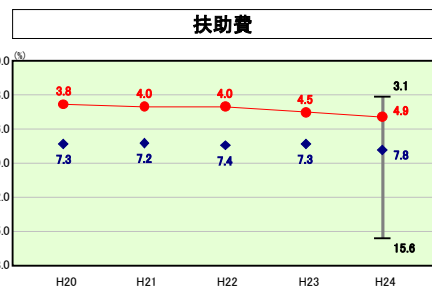
人口	41,275人 (H25.3.31現在)	実収支比率	- %
うち日本人口	40,751人 (H25.3.31現在)	実収支比率	- %
面積	157.51 km <sup>2</sup>	実収支比率	- %
入総額	17,973,325千円	実収支比率	9.3 %
出総額	17,011,682千円	実収支比率	117.9 %
実収支	871,534千円	市町村類型	H20 I-1 H21 I-1 H22 I-1
標準財政規模	10,973,943千円	(年度)	H23 I-1 H24 I-1
地方債現在高	18,568,692千円		



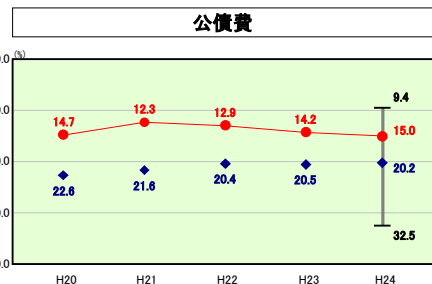
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



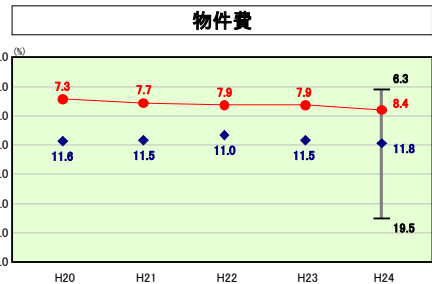
**人件費の分析欄**  
 合併後人件費の決算額は毎年減少し、人件費に係る経常収支比率は低くなっているが、類似団体平均と比較して3.1ポイント、全国平均と比較して2.8ポイント高くなっている。千葉県平均からは1.1ポイント下回っている。今後も平成23年に策定した第2次定員適正化計画に基づき、定員管理の適正化に取り組み人件費の削減に努める。



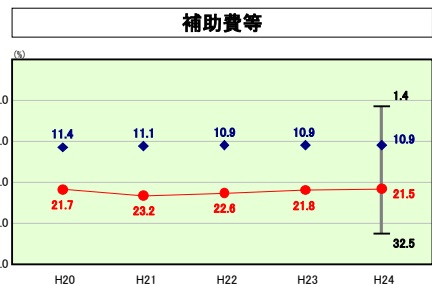
**扶助費の分析欄**  
 扶助費に係る経常収支比率については、類似団体平均、全国平均、千葉県平均を全て下回っているが、合併後生活保護世帯の増加等により扶助費の決算額は増加傾向にある。資格審査等の適正化や各種手当の見直しを進めて行くことで、増え続けている扶助費の抑制に努める。



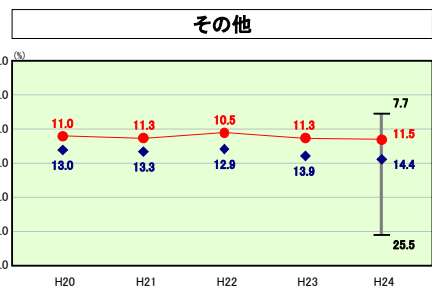
**公債費の分析欄**  
 合併後、合併特別債を活用して様々な事業執行を行ってきた。(防災行政無線整備、中学校、保育所の建設、基幹道路の整備等)これらに係る起債を合併後毎年起こしてきたが、据え置き期間が過ぎ元金償還が始まったことにより、公債費決算額が前年度に比較し約8千万円ほど増加した。このことから経常収支比率に占める公債費の割合も0.8ポイント上昇した。類似団体平均、全国平均、千葉県平均と比較しても全て下回っているが、事業選定等を行い新たな起債の借入を抑制していく。



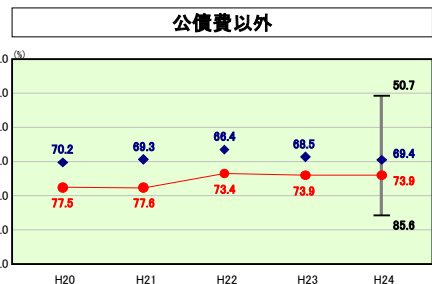
**物件費の分析欄**  
 物件費に係る経常収支比率は、類似団体平均、全国平均、千葉県平均ともに下回っている。しかし物件費の決算額は前年度に比較し約3千6百万円増加している。このため昨年度より0.5ポイント数値が上昇したが、これは統合型GIS整備を24年度から4か年かけて整備するがその初年度による影響である。次年度以降に事業費が増大することから整備終了までは数値が上昇することが予想される。



**補助費等の分析欄**  
 合併により、消防、病院、ごみ、し尿処理、いすみ鉄道、水道事業といった広域的な行政経費に対する負担が多額になり、類似団体平均、全国平均、千葉県平均ともに全て数値が大幅に上回っている。また各種団体に支出している補助金が既得権化し形骸化が見られるとともに、新たな補助金、補助団体が出来て補助金等増加傾向にある。今後各種団体にに対する補助金については、補助金に関する基本指針に基づき適正に処理していかなければならない。



**その他の分析欄**  
 類似団体平均を2.9ポイント、全国平均を1ポイント下回っているが、千葉県平均より0.1ポイント高くなっている。毎年ほぼ同じ数値で推移しているが、国民健康保険事業会計の財政状態の悪化に伴い、赤字補填的な繰出金や介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金が多額になっている。今後は、国民健康保険会計の健全化として、徴収体制の強化を行い、国民健康保険料の適正化等により繰出金の増加をさせないように努める。



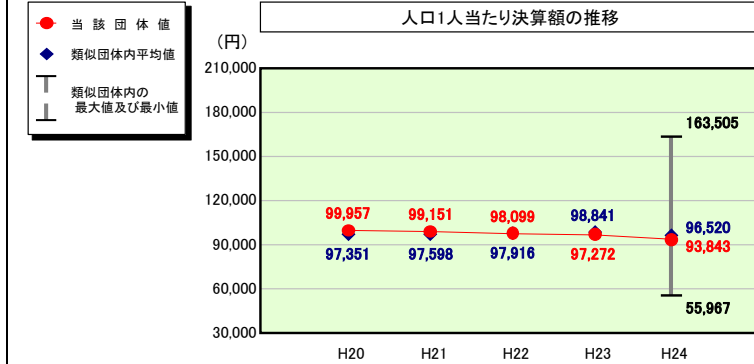
**公債費以外の分析欄**  
 類似団体平均よりも4.5ポイント、全国平均よりも2ポイント高い数値となっていて、千葉県平均と比較すると1.8ポイント低くなっている。類似団体等と比較した時に、高い数値となっているのは、補助費等の割合が非常に高いためである。今後は補助金を交付するのが適正な事業をおこなっているかなどについて、更に内容精査するとともに、不適当な補助金の見直しや廃止を行う必要がある。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

千葉県いすみ市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

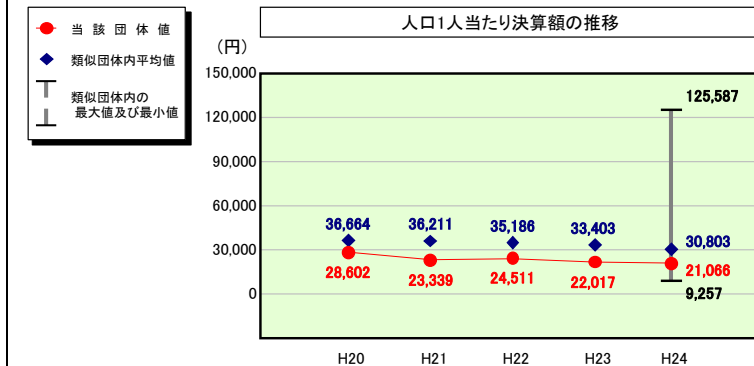
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,192,427	77,345	84,869	▲ 8.9
賃金 (物件費)	256,701	6,219	6,996	▲ 11.1
一部事務組合負担金 (補助費等)	724,700	17,558	8,876	97.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	780	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	112,878	2,735	3,514	▲ 22.2
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	22,700	550	1,798	▲ 69.4
▲退職金	▲ 436,035	▲ 10,564	▲ 10,311	2.5
合計	3,873,371	93,843	96,520	▲ 2.8

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	8.87	9.40	▲ 0.53
ラスパイレース指数	104.3	104.6	▲ 0.3

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

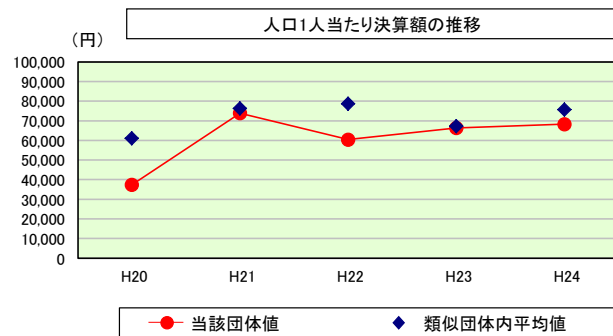


### 公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,683,236	40,781	65,313	▲ 37.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	41	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	265,582	6,434	17,399	▲ 63.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	195,705	4,741	3,541	33.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	14,094	341	1,662	▲ 79.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	10	-
▲特定財源の額	▲ 36,302	▲ 880	▲ 4,386	▲ 79.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,252,808	▲ 30,353	▲ 52,776	▲ 42.5
合計	869,507	21,066	30,803	▲ 31.6

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

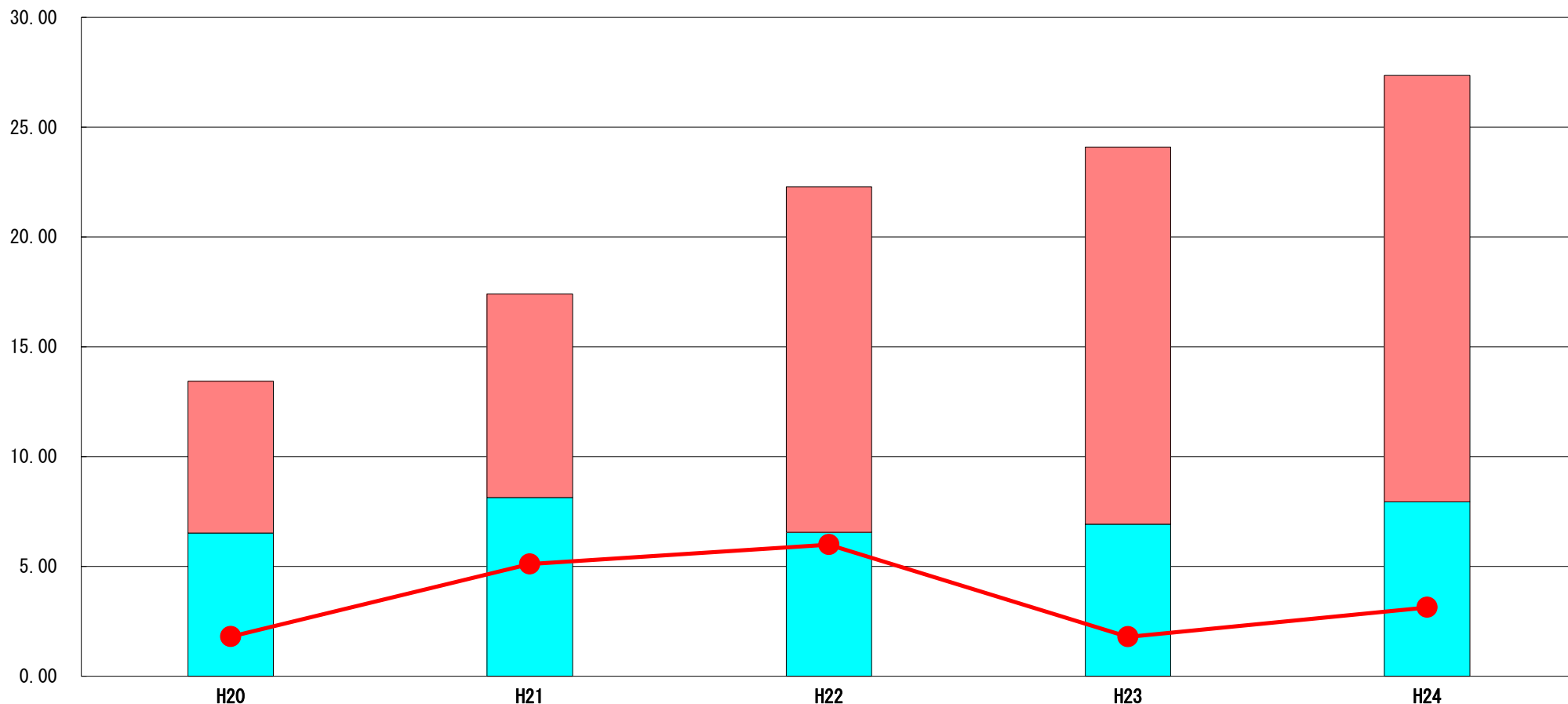
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H20	1,589,566	37,412	22.7	61,050	5.0	17.7
うち単独分	394,313	9,281	▲ 43.4	31,167	6.0	▲ 49.4
H21	3,116,724	73,909	97.6	76,282	25.0	72.6
うち単独分	913,449	21,661	133.4	41,092	31.8	101.6
H22	2,529,058	60,423	▲ 18.2	78,670	3.1	▲ 21.3
うち単独分	726,295	17,352	▲ 19.9	38,094	▲ 7.3	▲ 12.6
H23	2,741,344	66,362	9.8	67,201	▲ 14.6	24.4
うち単独分	907,824	21,976	26.6	35,210	▲ 7.6	34.2
H24	2,818,071	68,275	2.9	75,709	12.7	▲ 9.8
うち単独分	676,195	16,383	▲ 25.5	35,212	0.0	▲ 25.5
過去5年間平均	2,558,953	61,276	23.0	71,782	6.2	16.8
うち単独分	723,615	17,331	14.2	36,155	4.6	9.6

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成24年度

千葉県いすみ市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		6.91	9.27	15.74	17.17	19.41
 実質収支額		6.52	8.13	6.55	6.92	7.94
 実質単年度収支		1.80	5.10	5.99	1.79	3.13

## 分析欄

財政調整基金残高は、年々増加傾向にあるが、税収が昨年度より減少していることや学校施設に係る建設事業費が伸びることが予定されており、今後、このペースでの積立を維持できるかは不透明である。

実質収支額の比率は、標準財政規模比7%前後で推移しているが、毎年度、財政調整基金を繰り入れての調整をしていることから、更なる歳出削減に努めていく必要がある。同様に実質単年度収支においても今後も財政調整基金の積立額と取崩し額のバランスを考慮しながら財政運営をしていく必要がある。

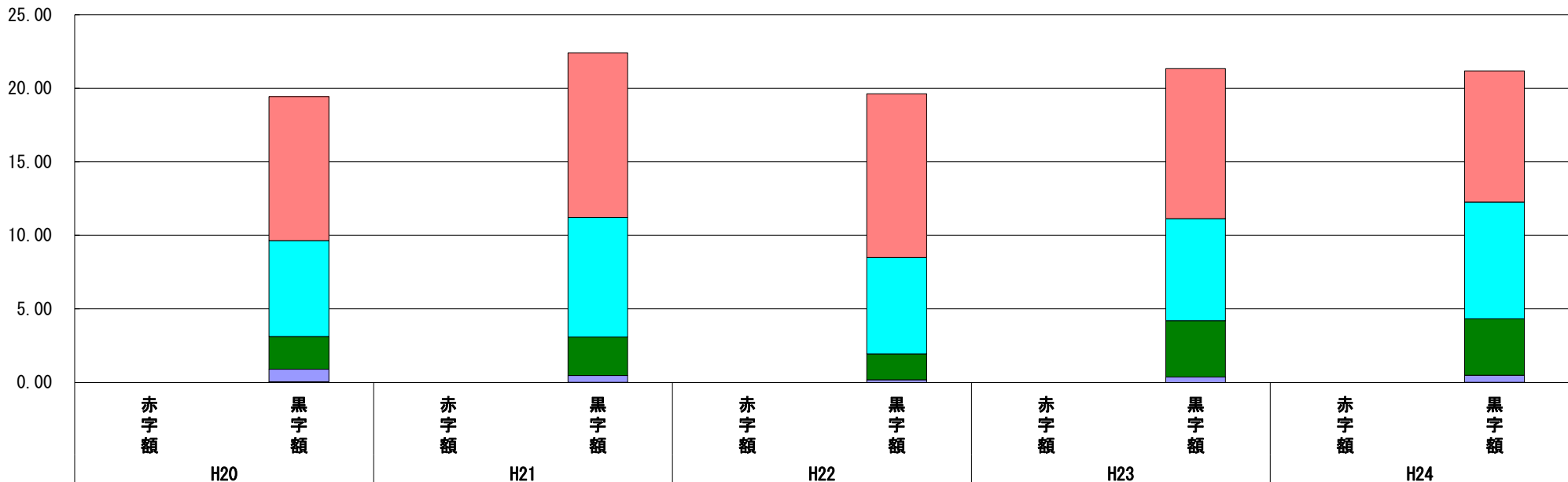


# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

千葉県いすみ市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
水道事業		9.79	11.19	11.12	10.21	8.93
一般会計		6.52	8.13	6.55	6.92	7.94
国民健康保険特別会計		2.22	2.61	1.76	3.84	3.83
介護保険特別会計		0.85	0.47	0.19	0.37	0.48
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.01	0.00	0.00	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.03	0.00	0.00	-	-

## 分析欄

合併以降、すべての会計で黒字決算となっている。企業会計は、水道会計のみである。  
 黒字額の標準財政規模比は水道事業会計を除き、ここ数年は上昇傾向にあり、毎年20%前後で推移している。  
 今後も黒字決算を維持できるよう更なる行政改革を推進し、財政運営を図っていく。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

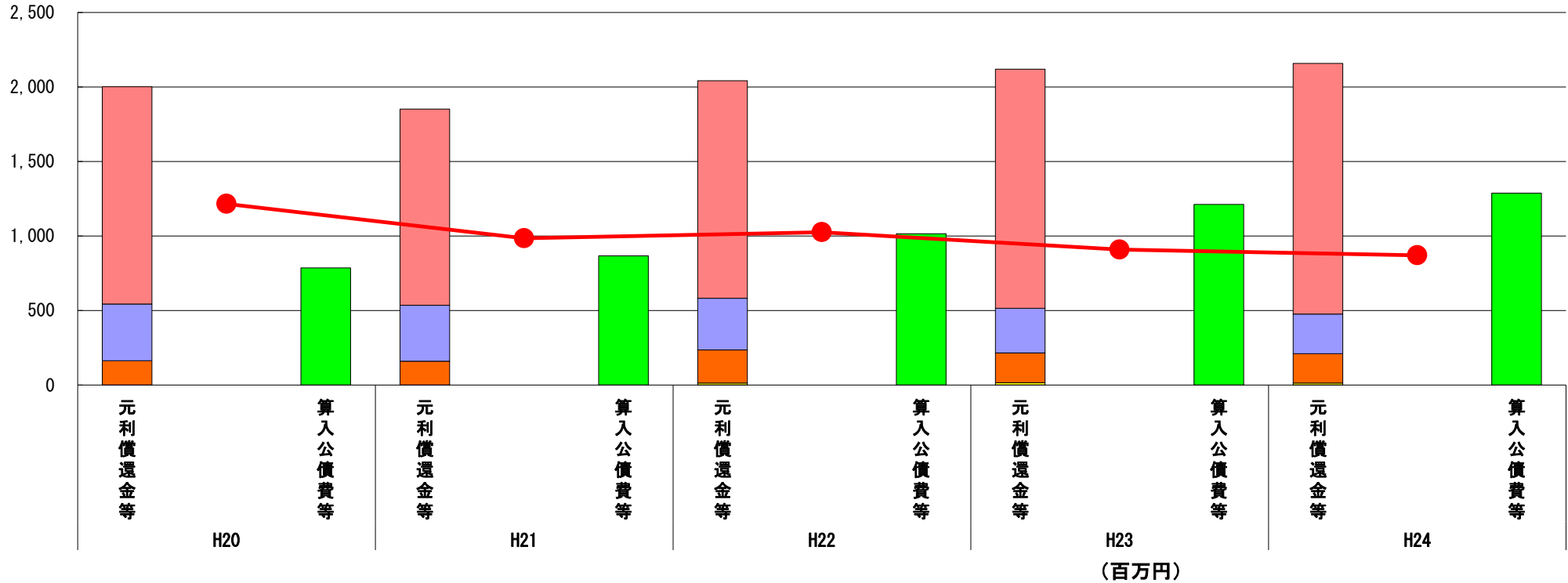


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

千葉県いすみ市

(百万円)



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,459	1,316	1,459	1,605	1,683
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		380	377	348	301	266
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		164	159	222	200	196
	債務負担行為に基づく支出額		0	-	13	15	14
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		787	867	1,016	1,212	1,288
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,216	985	1,026	909	871

## 分析欄

元利償還金については、合併特例債の発行が増加していることにより、年々増加しており、それに伴い、算入公債費についても増加している。

今後においても、学校施設の耐震補強事業等に合併特例債を活用していくことが予定されており、元利償還金、算入公債費が増加していくことが予想されるが、次世代への負担を少しでも軽減できるよう新規地方債の発行については、より一層の精査に努め、持続可能な財政運営を図っていく。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

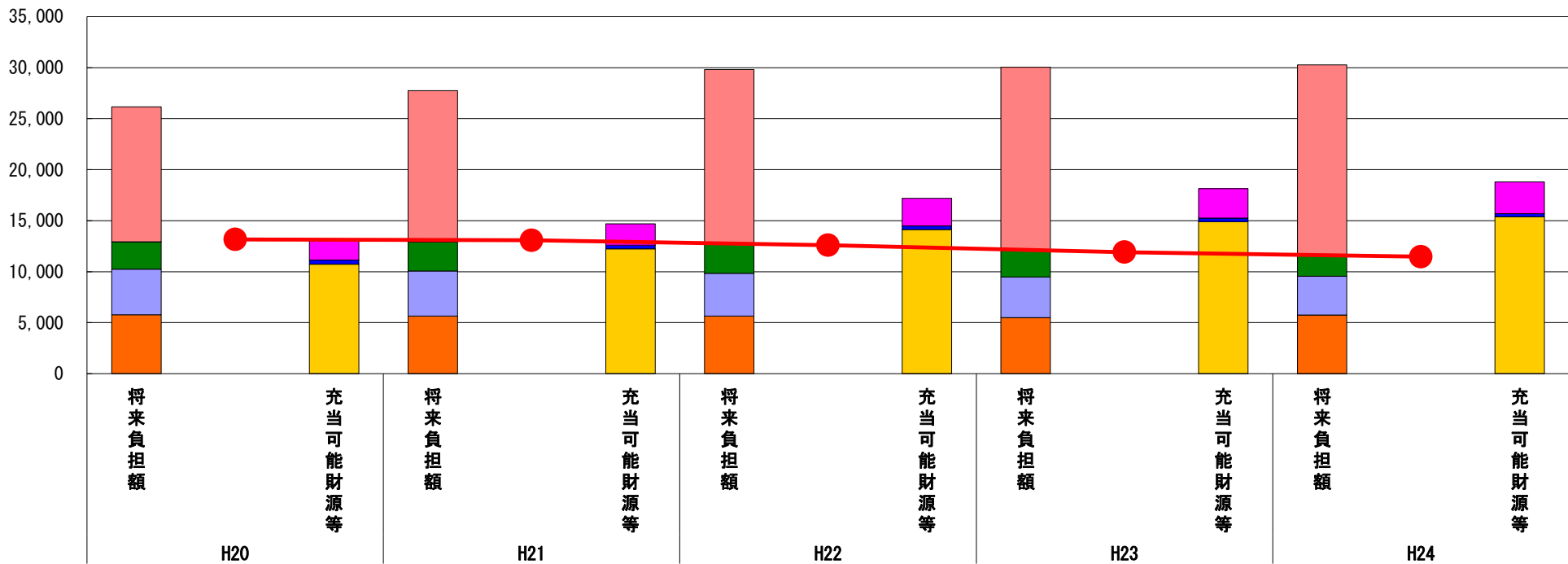
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

千葉県いすみ市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		13,227	14,847	17,086	17,972	18,569
	債務負担行為に基づく支出予定額		20	8	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		2,659	2,821	2,884	2,598	2,137
	組合等負担等見込額		4,478	4,420	4,174	3,987	3,822
	退職手当負担見込額		5,769	5,655	5,656	5,488	5,739
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,860	2,077	2,711	2,885	3,129
	充当可能特定歳入		413	381	356	330	304
	基準財政需要額算入見込額		10,720	12,225	14,133	14,912	15,370
(A) - (B)	将来負担比率の分子		13,159	13,068	12,599	11,918	11,463

## 分析欄

将来負担額については、学校施設をはじめとした社会基盤整備等を合併特例債を中心とした地方債を充当しながら積極的に推進している状況から今後も地方債残高が増加していくことが予想され、総体的に増加していくことが見込まれる。

また、充当可能基金については、年々、増加しているが、持続可能な財政運営をおこなっていくため、今後も基金の積み立てに努めていく。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。